

三十人様限定の  
特別サロン

# 新内の楽しみ

唄と語り、和楽器で聴く物語

古典新内 「明烏夢泡雪」

あけがらすゆめのあわゆき

弾語り 新内志賀

上調子 新内志賀桜

落語より新作新内 「火焰太鼓」

かえんだいこ

弾語り 新内志賀

笛森美和子

鳴り物 滝本ひろ子

トーク、唄(端唄などのおたのしみ)

新内志賀

新内研進派三代目家元八代目新内志賀 しんないしが

平成29年

12月6日(水) 午後2時開演

茨木クリエイトセンター・304号室

関西から



■主催：公益財団法人茨木市文化振興財団

■後援：茨木商工会議所／茨木市観光協会

## 人の生の悲哀の中から生まれた新内

江戸時代、元禄も終わりの頃、京都に一中節(いっちゅうぶし)という音曲が誕生しました。その後一中節の演奏家たちは江戸に進出し、その門弟から生まれた豊後節(ぶんごぶし)は、扇情的な音曲で江戸中の人々を熱狂させました。しかし、後に豊後節は倫理に反した恋愛を助長し、心中事件の横行を招くものとして、江戸の町奉行によって、劇場への出演や自宅での教授まで禁じられることになります。豊後節の門弟たちは生き残るために独立、分派し、常磐津、清元、新内などを創始、それぞれに発展を遂げて今日に至っています。新内は、他の豊後系浄瑠璃が歌舞伎とともに発展したのに反して、初期には歌舞伎にも用いられていましたが、後に歌舞伎から離れ、吉原などの花街を中心に街頭や座敷での演奏を行うようになりました。太夫は弾き語りを行い、上調子(うわちょうし)を弾く三味線弾きと二人で「新内流し」といわれる曲を弾き歩き、客に呼ばれると座敷に上がり演奏しました。本手(ほんで)と上調子という二挺の三味線を用いて、主旋律と高音の旋律が、艶やかに絡み合い演奏されることも新内の大きな特徴です。新内は、座敷や街頭にあった人の生の悲哀の中から生まれ、発展してきました。それは音楽でありながら、人間の心の機微を描く文学として、人の生き様を露にする演劇として、今日まで歌い継がれてきたのです。

### 新内志賀(重森三果) しんないしが



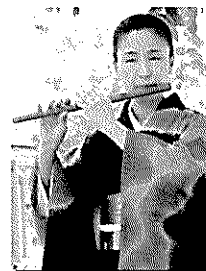
京都市生まれ。幼少期より江戸浄瑠璃新内節を研進派初代家元・新内志賀大掾及び新派家元・富士松菊三郎に師事。小唄を里園派宗家・里園志寿栄及び里園志寿華に師事。2012年研進派家元、並びに新内志賀の襲名を果たし、現在は一門の指導・育成に献身している。本名の重森三果名義では、さまざまな文学をもとに脚色した作品や自ら書き下ろした楽曲を、新しい試みをもって精力的に発表している。また数多くの映画・テレビ等において邦楽指導、演奏出演するなど多岐にわたって活動をしている。2014年文化庁芸術祭音楽部門優秀賞受賞。



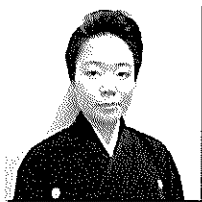
### 滝本ひろ子 たきもとひろこ 笛・太鼓奏者

1993年～2000年、「風流打楽 祭衆」に所属。その後、フリーの笛・太鼓奏者として、ジャンルを越えたさまざまなARTとのコラボレーションに挑戦するなど、和楽器の新しい可能性と独自の表現世界を追究している。自身が主催する風来音の企画公演「いぶき緑し」、「境の音なひ」では、さまざまなゲストを迎え、演出、作曲を手がけ好評を得る。現在、邦楽女性ユニット「やしよめ」、および和太鼓グループの「色彩打楽 うちなハレ」、「遊坐楽座」のメンバーとしてライブや学校公演を精力的に行っている。2016年、若冲生誕300年記念イベント「錦市場ナイトミュージアム」の音楽を重森三果とつとめる。京都の寺社各所、平等院、二尊院、妙蓮寺、蓮華寺、松尾大社、戒光寺などでの演奏や、京都で制作される時代劇の録音や指導、出演協力を行っている。篠笛・能管を藤合華生に師事。<http://www.furaion.com>

### 森美和子 もりみわこ 篠笛奏者



1995年より演奏活動を始める。ソロ演奏を基盤に音楽家や舞手、衣裳デザイナー、美術家などと共に公演を行う。また京都、大阪を中心に篠笛教室を開いている。民俗芸能「京都鬼剣舞」笛方。能楽の笛を一噌幸弘に師事。奄美民謡を上村藤枝に師事。日本民謡を藤田周次郎に師事。伝統芸能から学ぶ一方で、野口裕之主宰・身体教育研究所の稽古会において、日本古来の身体観と身体技法を学ぶ。二人の笛奏者による演奏会「風の彩 二管の綾」、アイルランドの弦楽器(ブズーキ)と篠笛とのユニット「歩組(ふくみ)、重森三果、滝本ひろ子との邦楽ユニット「やしよめ」などで活動中である。



### 新内志賀桜(細野桜子) しんないしがおう

4歳より新内志賀に師事。2017年、東京藝術大学(長唄三味線専攻)卒業。現在、京都市立芸術大学(日本伝統音楽研究専攻)修士課程在学中。長唄を稀音家温子、東音新井康子に師事。

平成29(2017)年12月6日[水] 午後2時開演(午後1時30分開場)

茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)3階・304号室 ※定員30人 茨木市駅前四丁目6番16号 ☎072-624-1726

[全席自由] 1,500円

◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き(この取り扱いは財団のみです) \*就学前のお子様はご遠慮ください。

10月10日[火] 9:00予約開始

財団の発売初日はインターネット・電話予約のみです。初日の電話予約は1回につき6枚まで。

#### ◆チケットのお申込み・お問合せ

茨木市文化振興財団・文化事業係 072-625-3055 (9:00~17:00) / インターネットチケット [www.ibabun.jp](http://www.ibabun.jp)

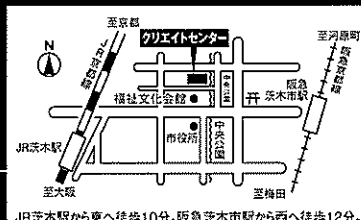
予約後は1週間以内に下記のチケットカウンターでご精算ください。チケットの引取り・窓口販売(残席がある場合)は発売翌日からです。

◎クリエイトセンター1階チケットカウンター(9:00~17:00) ◎福祉文化会館3階チケットカウンター(9:00~17:00)

\*インターネット予約については、コンビニ(セブンイレブン、サークルK、サンクス)でご精算・受取いただけます。(手数料108円)

\*予約チケットの郵送をご希望の場合は、(チケット料金+郵送手数料400円)を郵便局備え付けの「払込取扱票」でお支払ください。手数料はご負担願います。払込確認後の発送となります。

(払込口座) 00970-7-190576 / 加入者名: 茨木市文化振興財団



JR茨木駅から東へ徒歩10分。阪急茨木市駅から西へ徒歩12分。